

梅津中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

※様式自由。「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の調和のとれた育成や、学校教育の重点で触れられている視点など、各中学校ブロックにおいて検討の上、地域の子どもの姿（現状と課題）から義務教育卒業時に目指す子ども像の実現に向けた小中一貫教育構想図を記載してください。

平成30年度 小中一貫教育構想図

9年間の小中一貫教育の目標

『自分に自信をもたせ、自尊感情を育てることを通して、正義感と志をもち、自分の進路を切り開ける児童・生徒』

目指す子ども像

自分から進んで元気よくあいさつ

目標をもち、最後までやりぬく子

思いやりのある言葉を使える子

約束やきまりを守る子

具体的な取組の柱

- ① 小中合同の授業研修会（小1回、中1回）を行い、小中相互の授業への理解と授業改善を図り、学力向上を目指す。
- ② 中学校区で毎月15日を「いいことばの日」とし、各校生徒会・児童会を中心に「いいことば」を使う取組を推進する。
- ③ 夏季には小中合同の教員研修会を行い、9年間を見通した児童・生徒理解と指導の方向性の共通理解を図り、実践につなげる。
- ④ 小中合同研修会の前後には合同主任会（人権、総合育成支援、生徒指導、研究、学力、児童・生徒会）をもち、各校の取組や研修会の方向性、共通の取組への共通理解等を図る。
- ⑤ 各校が取り組む研究授業について参加案内を送付し、日常からつながりを意識できるようにする。
- ⑥ 必要に応じて（月1回程度）教務主任は会合をもち、取組の確認を行う。

梅津中学校・梅津小学校・梅津北小学校の3校で、育てる児童生徒像を共有し、相互のカリキュラムや生徒指導などの取組の交流と調整を行い、また、授業公開と事後研究会、夏季合同研修会の分科会での課題別協議を実施する。これらの取組を通して相互理解と課題の共有を図り、指導力を向上させ学力向上を目指す。

梅津小学校

「自ら進んで学び、未来にはばたける子の育成」

取組の3つの柱

- ① 道徳教育を核とした人権教育を充実する「一人一人が徹底的に大切にされる学校」
- ② 学力向上を目指す「進んで学ぶ子の育成」…学力向上委員会で徹底する内容の検討と徹底
- ③ 保護者・地域との連携
開かれた学校づくり、地域ぐるみの学校づくり、小中連携等

梅津中学校

「自と他を大切にできる豊かな人間性と自律して社会を生き抜く力の育成」

取組の5つの柱

- ① 安心して登校でき一人一人が大切にされる安全な学校づくり。
- ② 基本的生活習慣が身につきルールや約束を守る心の育成。
- ③ 全員参加の活発な授業と進路を考え自ら学ぶ生徒の育成。
- ④ 生徒会活動を中心とし行事に積極的で本校を誇りに思う生徒の育成。
- ⑤ 指示通り連携がとれ互いに高め合い補い合える教職員集団づくり。

梅津北小学校

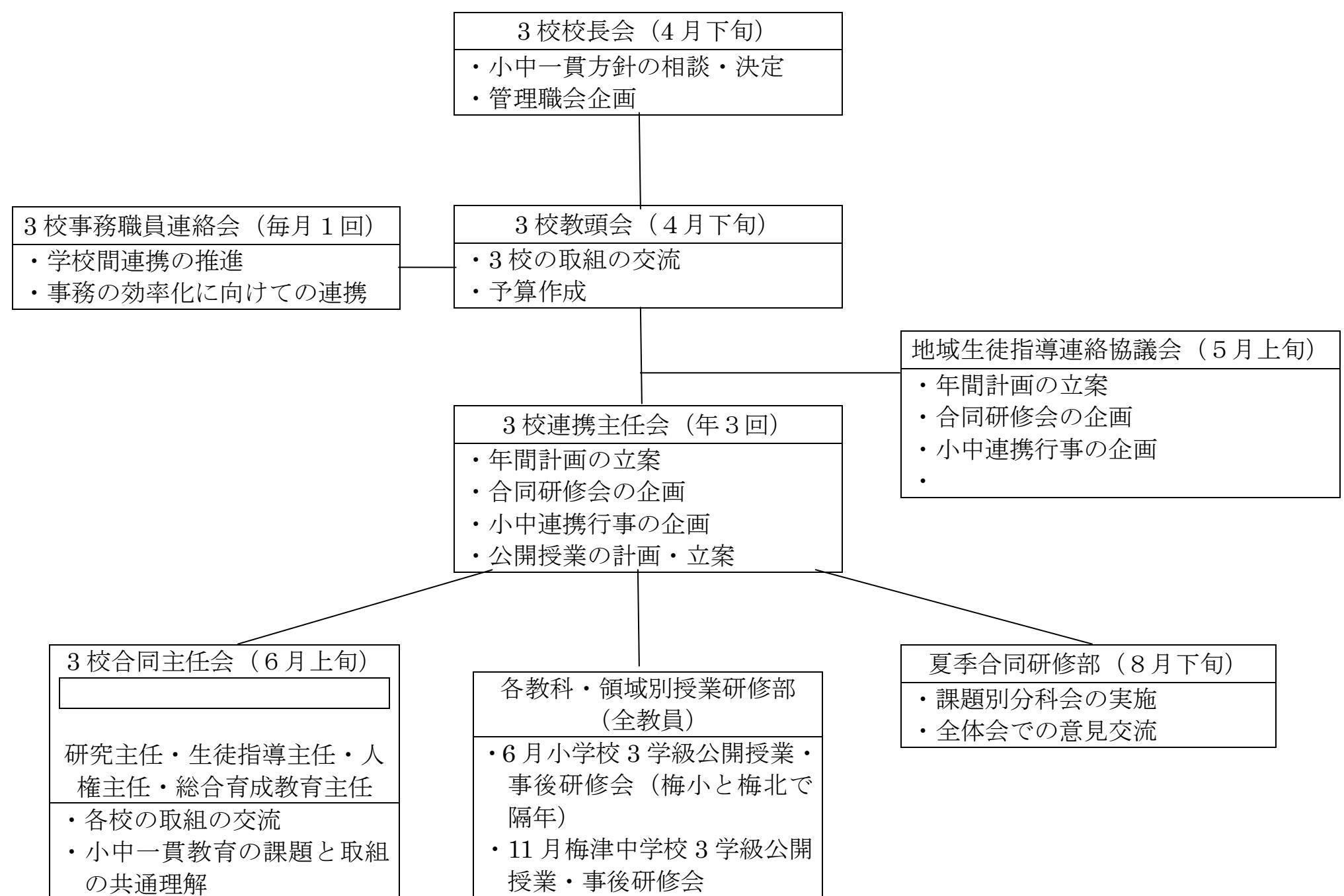
「自ら考え行動し、最後までやり抜く心豊かな子の育成」

取組の3つの柱

- ① 人権尊重、福祉、ボランティア精神の育成 「自らを律する力」を高める教育の推進
- ② 学力向上、自己教育力の育成 「自ら進んで学ぶ力」を培う
- ③ 健康な心身の育成 健康・安全教育、スポーツ活動の充実

梅津中学校ブロック小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等、小中一貫教育を推進する体制を記載してください。



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- ・学校だより・HPによる小中一貫教育の取組の発信
- ・梅津地区生徒指導連絡協議会との連携
- ・年1回以上の道徳の時間の公開授業の実施
- ・学校運営協議会への情報提供
- ・自由参観日の設定